様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和７年　８月　１３日

（あて先）旭川市長

提出者
住　所　北海道旭川市春光台４条１０丁目
氏　名　社会福祉法人　北海道療育園
理事長　丸山　静男
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0166－51－6524

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条の２第 10 項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	北海道療育園
事業場の所在地	北海道旭川市春光台４条１０丁目
計画期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	医療業
② 事業の規模	３３５床
③ 従業員数	５１２名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	感染性廃棄物容器を使用し株式会社アンビエンテ丸大に処理を委託 感染性廃棄物　→　中間処理；焼却　→　最終処分；管理型埋立

（日本産業規格　A列４番）

（第２面）

<table>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）

特別管理産業廃棄物管理責任者：在宅診療部長

特別管理産業廃棄物管理担当者：管理課長</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　６　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>感染性廃棄物</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>76.583ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
感染性廃棄物の分別内訳の一つである紙オムツの風袋を段ボール容器から単価の安いごみ袋に変更した事によって処理金額の削減に繋がった。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>感染性廃棄物</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>74.296ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
一般廃棄物との分別を丁寧に行い今後３％の削減を図る。</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
感染性廃棄物分別内訳
1.鋭利物(カミソリ、メス、ディスポ注射器等)
2.非鋭利物(尿パック、ディスポ手袋等)　3.紙オムツ</td></tr>
<tr><td>②　計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
分別内訳増える予定なし。</td></tr>
</table>

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
特別管理産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
―</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
特別管理産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
―</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
特別管理産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
特別管理産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
―</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
特別管理産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
特別管理産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
―</td></tr>
</table>

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和　　年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	―	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組） ―		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	―	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	― t	t
	（今後実施する予定の取組） ―		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和　6　年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全処理委託量	76.583 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	76.583 t	t
	再生利用業者への処理委託量	― t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	― t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	― t	t
	（これまでに実施した取組） 感染性廃棄物は、中間処理を優良認定処理業者へ処理委託している。		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>感染性廃棄物</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>74.296 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>74.296 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
搬出業者にあたる弊社の３％削減を考慮した目標数量となる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

８　※欄は記入しないこと。